

新聞記事

平成22年7月4日 朝日新聞

大雨 生活に打撃



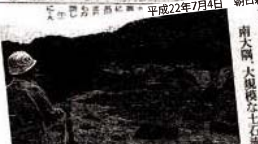
橋・道路崩落 浸水も

九州南部豪雨
九州南部豪雨で、熊本県宇都井町の橋が崩落し、車が落下した。また、道路が浸水し、交通が麻痺している。

家つぶされ 道路寸断



裏山崩れ 土砂流入 霧島市で1時間126ミ



九州南部豪雨
霧島市で1時間126ミの豪雨が降った。裏山が崩れ、土砂が流入し、道路が寸断された。

闇つんざくゲリラ雨



平成22年7月4日 朝日新聞



記録的な豪雨続く 5日間 鹿児島市 梅雨期の半分

九州南部豪雨で、鹿児島市で記録的な豪雨が続いている。5日間の降雨量は梅雨期の半分を超えている。



南九州大雨 2人死亡 1人不明 土砂災害相次ぐ

南九州で大雨が続き、2人が死亡、1人が不明となっている。土砂災害が相次いで発生している。



山体 一気に崩落か 目撃者「深層崩壊」を示唆

九州南部豪雨で、山体が一気に崩落したと目撃された。目撃者は「深層崩壊」を示唆している。



鹿県豪雨 2人死亡



9市町村がけ崩れ 21棟浸水、道路損壊も

平成22年6月21日 南日本新聞



平成22年7月4日 読売新聞

土砂直撃 家真の二つ 川も氾濫 住民怖い

九州南部豪雨
九州南部豪雨で、川が氾濫し、住民が恐怖を覚えている。また、土砂が家の真上を流れた。



平成22年6月21日 南日本新聞

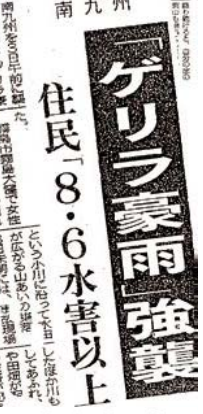
避難住民、不安な夜 鹿県内大雨 土砂崩れや冠水



平成22年6月21日 南日本新聞

鹿県大雨 100人避難 きょうまで警戒必要

九州南部豪雨で、鹿県で大雨が続き、100人が避難している。警戒が必要とされている。



平成22年7月4日 南日本新聞

住民「怖かった」 17年前も土砂崩れ犠牲

九州南部豪雨で、住民が恐怖を覚えている。17年前にも土砂崩れで犠牲が出た。

南大隅町根占山本地区 船石川・大浜川

登尾観測所(南大隅町)では、6月初旬から7月4日までの累積雨量が1,055mm、最大時間雨量102mm等、記録的な雨量が観測されました。7月4日から8日にかけては、深層崩壊に伴う土石流が7回発生して、土砂が下流域へ流出し、国道269号埋没(7月7日2時~28日13時:全面通行止、7月28日13時~8月11日5時:夜間通行止)、床上浸水1戸、床下浸水1戸の被害を受けました。

また、7月26日17時50分には、50世帯91名に対して避難勧告が発令され、8月11日17時に解除されるまでの間、避難場所が3回変更になるなど、長期にわたる避難生活を強いられました。

■被災全景



崩壊部

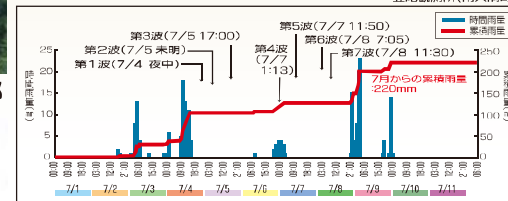


人家被災状況

■被災箇所の位置



■土砂災害発生時の降雨状況



■公共土木施設等の被害の概況

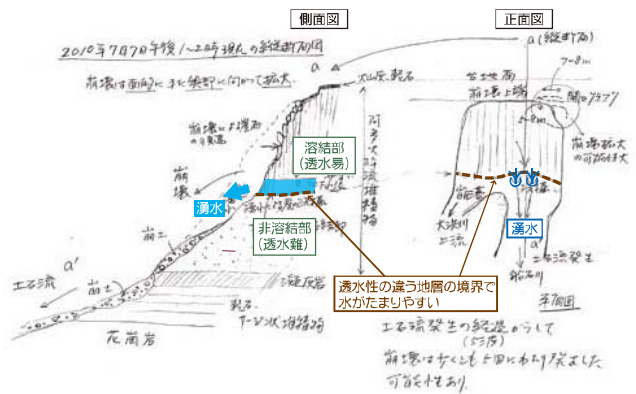
区分	箇所数	死者	負傷者	行方不明	全壊	半壊	一部損壊	流出	床上浸水	床下浸水
河川	1箇所	0	0	0	0	0	0	0	1戸	1戸
海岸	1箇所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砂防設備	1箇所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
道路	1箇所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
橋梁	1箇所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1箇所	0	0	0	0	0	0	0	1戸	1戸

土砂災害発生メカニズム

台地上に降った雨水が地下深くに浸透して、地層の境界に滞留した大量の地下水が斜面下部に湧出した際に、周辺部を洗掘したことによって、大規模な崩壊を誘発し、崩壊土砂が土石流化しました。

崩壊メカニズム

- ①降雨等により湧水増加
- ↓
- ②斜面内部の水圧が高まる
- ↓
- ③高まった水圧により斜面が崩壊



※鹿児島大学農学部下川教授による現地調査結果メモに加筆

■被災前全景 平成12年



■被災後全景 平成22年7月

